

できるようになる喜び

例年よりも早い梅雨入りに、気持ちが沈んでいましたが、思ったよりも梅雨の中休みが続き、子供たちが運動場で元気に走り回ることができており、ホッと胸をなでおろしています。

明日より6月ですが、梅雨の間の晴れ間のことを「五月晴れ（さつきばれ）」といいます。6月に入っても、適度に「五月晴れ」が訪れ、子供たちのストレスが高まり過ぎないことを強く、強く願っています。

子供たちは、学校での様々な取り組みを通して成長していきます。成長のひとつに「できることが増える」ということがあります。毎日の授業がまさにそうで、今までできなかったことができるようになる瞬間、例えば3ケタの割り算ができるようになった瞬間、新しい漢字が書けるようになった瞬間、なわとびで二重とびができるようになった瞬間などなど、子供たちはできるようになった瞬間に、最高の笑顔を見せてくれます。私たち教師は児童の数だけその成長の瞬間に立ち会うことができる、本当に幸せな職業であるとあらためて思っています。

私は晴れた日の朝には、学校周りの清掃活動をしているのですが、その途中、若宮公園のそうじをしていると、始業前に運動場で遊ぶ子供たちを見ることができます。4月中ごろに、5年生のある女子児童が、友だちと一緒に一輪車に乗る練習を始めました。友だちはすでに上手に乗ることができており、練習をする児童は、コツを聞きながら、毎朝がんばっていました。なかなかすぐには成果が表れず、「諦めてしまうかな？」と思った時もありました。約1か月経ったある日の朝、その彼女は友だちと一緒に上手に一輪車に乗ることができるようになっていました。

話を聞くと、「どうしても乗れるようになりたい！」という思いで、朝だけでなく、時間を見つけては練習したそうです。諦めるのは簡単ですが、できるようになるまで頑張り続けることは、本当に難しいことです。努力することでできなかったことを克服した姿は、本当に立派です。（支え続けてくれた友だちも素晴らしいです。）

今月も、できるようになった笑顔の花をたくさん咲かせることができるように、職員一同取り組んでまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 濱田 忍

